

## ①経営体の概要

- 所在地:大分県大分市
- 経営体名:有限会社藍澤農園
- 栽培作物:みつば(水耕) 110a  
レタス(水耕) 26a
- 従業員数:10名(うち家族2名、臨時8名)



## ②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

## 【みどりクラウド((株)SERAKU)】

- ハウス内にセンサーと定点カメラを設置し、2～3分おきに温度、湿度、Co2濃度、日射、水温を測定。

- データはクラウドサーバーに自動送信。事業者はスマートフォンで、随時、ハウス内の状況を把握できる。



## ③導入の経緯

- ハウスが遠隔地3箇所(車で20分)にあることから、データを見える化するとともに、状況に応じて即対応し、リスク回避できるようにする。

- 社員全員でほ場の状況を把握し、ミスが発生しないよう二重三重のチェックができると考えた。

## ④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

○なし

## ⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 水耕栽培であることから、水温等の管理が重要。夏場の高温期に、遠隔地圃場の効率的な管理が可能となった。

- 分散した圃場でも効率的な管理ができるようになり、更なる規模拡大が可能となった。

## ⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- 現システムはハウス内の換気、窓の開閉、遮光カーテンの開閉と連動しておらず、的確な判断が課題。今後は自動システムの導入を検討中。

- 栽培管理の効率化はできるものの、収穫・出荷調製作業には人手が必要であるため、今後の規模拡大には労働力の確保がカギ。

